

## 第3滑走路計画・運用時間延長は不要

# 空港機能強化を白紙に戻せ



欠航に次ぐ欠航で飛べない機体が駐機場場に密集する成田空港

安倍政権は5月4日に緊急事態宣言の延長を決め、引き続き外出や営業の「自粛」の要請をしています。他方で、コロナに乗じて自らの権限を強化するための検察庁法の改悪や企業の利益のために農家の自家採種を「原則禁止」とする種苗法の改悪をまともな審議もせずに通そうとしています。

私たちの命と生活に直結する医療・検査体制の拡充や休業に対する補償こそ真っ先に取り組むべき課題です。いまだに医療機関にすらマスクが足りない、補償が出ない現実を変えるために声を上げましょう。

成田空港会社（NAA）は、B滑走路に続き、ターミナルの一部も閉鎖しました。空港内店舗も休業が強いられ、収入は9割減。社員の出勤も輪番制で7割以上を削減。他方で、NAAは航空会社には100億円規模の援助を行い、政府に対しては自らの支援を要求しています。

空港機能強化の根拠は完全に崩壊しています。第3滑走路建設もB滑走路の延伸も運用時間の延長も「不要」です。コロナ情勢の中でも不屈に耕し続けられている農地こそ私たちの命であり宝です。共に生き抜くために闘いましょう。

## 第3回・天神峰檜の木まつり

7月12日（日）13時～ 成田市天神峰

## 9・27三里塚全国集会

9月27日（日）正午～集会 成田市街地で開催予定

※いずれもコロナ情勢のもとで中止・延期の可能性があります。

反対同盟のホームページやツイッターでご確認ください。

# コロナを無視し機能強化を進める 田村明比古NAA社長を許すな！

## ●4月出国者数昨年の1.7%

4月28日、NAAの田村明比古社長は定例の記者会見を開き、4月1日～25日までの成田空港の出国旅客数は98.3%減の1万9800人、国際線発着回数が85.1%減の1852回、旅客ターミナル内の売店や食堂などの売上高は97%減であったことを明らかにしました。記者会見後のゴールデンウィーク（4月24日～5月6日）に成田を利用した出入国客数は99%減の1万2720人。出国した日本人は99.8%減のわずか850人でした。

田村社長は、壊滅的打撃を受けている現状を「最大の危機」としながらも、「機能強化は中長期的に必要な施策であるため、計画に影響させることは考えていない」と強弁しています。

## ●コロナ後「V字回復」はない

しかし、そもそもコロナがすぐに収束するとは限りません。第2波、第3波がいつどのくらいの規模で来るのかの予測は難しいかもしれませんが、感染症の過去の例から言っても確実に来ます。最低でも数年はかかるだろうと専門家は指摘しています。

そして、数年かかってようやく収束したとしても、航空需要の「V字回復」とはなりません。コロナショックによる膨大な労働者の解雇がはじまっています。

アメリカではすでに世界大恐慌以来の歴史的失業率となっています。日本でも本格的にはじまるのはこれからだと言われています。こうした中で「不要不急」の観光などのための需要がすぐに生まれるとは到底考えることはできません。

## ●破綻必至の航空業界

航空会社自身の破産も始まっています。オーストラリア第2位のシェアをもつヴァージン航空が経営破綻。英フライビーが破産申請。独ルフトハンザも政府と交渉中。伊アリタリア航空は国有化。日本のANAもJALも赤字となり政府の支援（2兆円規模！）を要求しています。

航空業界と関連部門の労働者2500万人（38%）の雇用が失われると国際航空運送協会（IATA）は試算しています。

「V字回復」どころか青色吐息。労働者の首を切り、政府の支援（税金）で何とか生き延びようというのが航空業界の実態です。

## ●機能強化策を白紙に戻せ

コロナショックで右肩上がりの航空需要は幻想であったことがだれの目にも明らかになりました。私たちは没落する航空業界とそれにしがみついた政治家・利権屋と生死を共にするわけにはいきません。「機能強化は白紙撤回！」の声を共に上げましょう。

# 辺野古新基地建設をやめろ

## 「復帰」48年 沖縄と連帯する横田デモ

5月16日、東京・福生市内で「横田と沖縄、すべての基地を撤去しろ！『復帰』48年 沖縄と連帯する横田デモ」が行われました。48年前の5月15日、日本に「復帰」した沖縄は半世紀近くたった今も米軍基地被害に苦しめられ、新たな基地建設まで進められようとしています。外出自粛を要請しながら辺野古の基地建設をやめようとする政府への抗議、オスプレイ訓練が行われている横田基地撤去の思いも込めたデモ行進が行われました。反対同盟も連帯のメッセージを送りました。



沖縄辺野古の座り込み

# 自衛隊木更津オスプレイ配備許すな

5月8日、陸上自衛隊木更津駐屯地に暫定配備するとしているオスプレイが米軍岩国基地（山口県）に運び込まれました。6月下旬にも木更津に持ってこようとしています。

3月下旬には日本版海兵隊とよばれる「水陸機動団」の隊員搬送などを担う「輸送航空隊」を木更津駐屯地に発足（写真上）させ、4月5日に「隊旗授与式」が行われています。（写真下）

新型コロナウイルスの感染対策で手いっぱいの状況を利用した軍備増強は絶対に許せません。横田基地の米軍オスプレイと木更津自衛隊オスプレイの共同訓練も狙われています。成田空港を軍事利用する可能性もあります。絶対反対の声を共に上げましょう



# 地域住民の声

今回は成田市と芝山町の住民から。住民に居住することを勧めつつ、騒音拡大に手を貸す市の対応に怒る住民とB滑走路閉鎖を今後も続けるべきという芝山町住民の声を紹介します。

## ◆住民の生活を守るべき成田市の矛盾した対応に疑問と怒りを覚える。

成田市 会社員（男性）

4月に入って空港周辺の市町で都市計画マスタープランが発表されている。成田市久住の中央地区は2017年に成田市がまとめたマスタープランでは、低層住宅居住地区と言われていた。

だから住宅建設も進められ、平成22年段階では379戸だったのが、現在は1046戸となり約2.8倍になっている。騒音はある程度は覚悟していたとはいえ、機能強化によってB滑走路が1千北側に延伸されれば、地域の3分の1

くらいが騒音コンターで62デシベル以上になる。居住地域に指定しながら、他方で空港会社と一緒に成田市当局が機能強化を進め、生活破壊に手を貸していることに疑問と怒りを覚える。

## ◆B滑走路閉鎖で静かな空が戻った！ 未来永劫閉鎖してほしい。

芝山町 会社員（男性）

B滑走路が閉鎖され、これほど静かだったのかと大変驚き喜んでいる。B滑走路はこのままずっと閉鎖すべきだ。ましてや第3滑走路なんてとんでもない。

新型コロナウイルスの感染拡大はいつまで続くかわからない。最低でも数年はかかると言われている。

海外の航空会社の倒産が始まっている。ANAもJALも国の税金を投入しなければ危ないと聞く。LCC（格安航空会社）はなおさらだ。NAAだって倒産しても不思議じゃない。

全世界で解雇や倒産が起きている中で、海外旅行どころではない。B滑走路は未来永劫封鎖し、機能強化は白紙撤回すべきだ。

## 1千万人が参加 ツイッターデモ 「#検察庁法改正案に抗議します」

「#検察庁法改正案に抗議します」のハッシュタグ（検索目印）を付けたツイッターへの投稿が1千万件を超えています。安倍政権がコロナの混乱を利用して、検察官の定年を延長する検察庁法改定案の国会審議を開始したこ

とに多くの俳優や作家、ミュージシャンなどの芸能人も危機感を表明し、かつてない規模で賛同が広がっています。安倍政権による検察の私物化、独裁的な権限の強化を許さず、ともに声を上げ阻止しましょう。